ひよし社協

日吉地区社会福祉協議会

第71号

発行日　令和８年１月１日
発　行　会長　青　博孝
編　集　日吉地区社会福祉協議会
☎ 090-2733-0461
印　刷　有限会社　創文社

新年明けましておめでとうございます

日吉地区社会福祉協議会　会長　青　博孝

ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、会長一年目として開催しました総会は、皆様のご協力で無事に終えることが出来感謝申しあげます。

皆様からの賛助金や募金の配分金を事業運営の財源としています日吉地区社協に於いては、その善意を地域に役立たせるための活動も考えていくこと、行動していくことが必要だと思っています。４年ほど前から新規に事業を立ち上げる団体に新規助成金として少額の助成金を出して応援していく事業も始めていますが、申請団体には人材不足、担い手不足などの問題があり活動継続の難しさが表面化してきています。

コロナ禍以降、日吉のように大きな地域ではつながり作りによって地域の人材発掘・育成につながっていくのではないでしょうか。

前年度まで日吉地区社協が主催していました『ふくふくスタンプラリー』も新たに日吉地区連合町内会と共催、オール日吉で皆様の健康から福祉を考える『日吉ふくふくスポーツフェスタ』として日吉台中学校をお借りして開催いたしました。

当日は雨天のため内容を変更することを余儀なくされましたが、ブースは各々の団体で多種多彩な運営を行ってくださり、思ったより賑やかな様子で正直ホッとしました。体育館でも急遽室内競技に切り替わりましたが、子どもも大人も大盛り上がりで楽しんでくれたのではないかと思います。最後の目玉賞品の大抽選会も大きな歓声のもと無事に終了いたしました。本来は運動とブースを一度に楽しんで頂ける予定でしたが、次回はもっと良いイベントに出来るよう努力し、日吉地区社協として他団体との協力で子どもから高齢者まで健康で明るく暮らせる福祉を目指したいと思います。

今後とも日吉地区社会福祉協議会の活動にご理解とご協力をお願いするとともに、皆様にとって本年が良き年でありますようお祈り申し上げます。

新年の御挨拶

港北区長
竹下幸紀

新年あけましておめでとうございます。

日吉地区の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

港北区の地域福祉保健計画である「ひっとプラン港北」は、現在第５期計画の策定を進めているところで、４月からは新たな計画である第５期計画（令和８～12年度）がスタートします。日吉地区の皆様には、特に地区別計画の部分で、第４期計画への取組と振り返りを基に、第５期計画の策定にご尽力いただきました。

皆様が活動を継続してきていただいたことに深く感謝申し上げます。引き続き、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

区内で最も多い約８万人が暮らす日吉地区では、日吉地区社会福祉協議会をはじめ、自治会・町内会、民生委員・児童委員協議会など多くの団体が連携し、住民同士の交流や地域のつながりづくりに取り組まれています。

昨年11月には、「日吉を歩いて福祉を知ろう」をテーマに開催されてきた「ふくふくスタンプラリー」と運動会を融合させた「ふくふくスポーツフェスタ」が開催されました。スポーツ競技やイベントを楽しみながら、福祉や地域活動について知っていただくこの催しには、多くの方々がご参加され、活動について広く知っていただけたとともに、笑顔あふれる１日となりました。また、活動にあたっては、近隣の学校や学生との連携も進められています。こうした取り組みが、将来、地域を支える若い世代の育成につながることを期待しています。

区役所職員も日吉地区の皆様と力を合わせ、地域福祉の更なる向上に取り組んでまいります。皆様の１年が素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

令和7年度 港北区社会福祉功労者表彰

第43回港北区社会福祉大会にて日吉地区社会福祉協議会からは地域福祉活動功労を

伊藤　勉様、上野研二様、小川康子様
木下　昇様、鈴木里美様、細谷サユリ様

が受賞されました。

皆さま、おめでとうございます。

ア・ラ・カ・ル・ト

矢上小学校

手をつなぎ
笑顔いっぱい
矢上っ子

マスコットキャラクター
「ヤガミーフ」

矢上小学校のマスコット「ヤガミーフ」は、運動会などのイベントにも欠かせない存在です。

校舎内にも素敵な紹介が掲示されています。ご来校の際には、ぜひご覧ください。矢上っ子は、学校目標にあるように笑顔いっぱいに過ごしています！

ふくふく日吉スポーツフェスタ開催!!

11月９日（日）日吉台中グラウンドで日吉地区連合町内会・地区社協共催、各地区地域ケア委員会、各種団体や学校が協力して『ふくふく日吉スポーツフェスタ』が行われました。急な冷え込みと雨でスタッフが気を揉む中、開始と同時に受付には列ができました。

屋根のあるピロティには各町会や団体の工夫をこらしたブースが並びます。スタンプラリー、各種ミニゲーム、物品販売、活動紹介の『横丁』と名付けられたエリアは大にぎわい。

体育館では昔懐かしパン食い競争などのミニ運動会で熱気があふれます。最後は予定通り豪華な景品大抽選会。一人でも家族でも自由に気軽に参加できるこの催しは千数百人の来場者で大盛況でした。

大忙しのスタッフも楽しそうな参加者を見てまた笑顔。あいにくの天気に運営はバタバタでしたが、オール日吉の素晴らしいイベントが続きますようにと願う一日となりました。

▼賛助会費ご協力のご報告

日吉地区では、４１８名の賛助会員の皆さまより、９３８，０００円のご協力をいただいております。ありがとうございました。

※令和７年11月30日現在

▼年末たすけ合い運動募金について

今年度も日吉地区の各町内会・自治会を通して募金をお願いしましたところたくさんのご寄付をいただいております。ありがとうございます。

なお、今年度の募金金額の集計結果につきましては、後日ご報告させていただきます。

日吉地区社会福祉協議会の活動

福祉の学びを地域へ 6年生「ふくふくスポーツフェスタ」参加

横浜市立日吉台小学校 校長 吉井 宣明

日吉台小学校では、このたび6年生が「日吉ふくふくスポーツフェスタ」に参加させていただきました。6年生は、4年生の時から総合的な学習の時間で「福祉」をテーマに学びを深めています。昨年度5年生の際には、「ふくふくスタンプラリー」において、本校をスタンプポイントの一つとして設定していただきました。今回の参加は、こうしたつながりから実現したものです。当日は、これまで学んできた福祉に関する取り組みを紹介する展示のほか、6年生が考案し、子どもから高齢の方まで楽しめるニュースポーツ「ボッタンク」を実施しました。雨により急きょ体育館での開催となりましたが、順番待ちができるほどの盛況でした。また福祉の展示ブースでは、子育て世代の方向けにスマートフォンで確認できる安全マップを配付したほか、段ボールで作った幼児用の遊び場も開放し、多くの皆さまにご覧いただくことができました。

民児協の活動は町会と協力し合って

日吉本町西町会 副会長 大野 義徳

日吉本町西町会は三年前の日吉本町民児協の東西分割以来、西地区民児協との連携をより深め住みよいまちづくりを進めています。民児協が行う「いきいきの会」やその他催し等で使用する町会会館（いきいき会館）の優先利用などで活動を支えています。

町会が主催する主要行事（盆踊り、防災訓練、運動会他）にも協力してもらい、特に防災訓練では民児協が担当する要援護者支援班の地図を頼りに車いすで救助宅を訪問する訓練は事前教育を行った上で実施しています。町会が毎年行う敬老の日の記念品配布には常任理事と民生委員で高齢者宅を訪問し健康状況を把握、**ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進活動**が効率的に行えるよう支援しています。また、子どもたちの居場所づくりを目標とした**「いきいき会館の自由解放日」**では試行を繰り返し、民児協が12月にクリスマスリトミックを開催。これからも住みよい**西地区のまちづくり**に共に取り組んでいきたいと思います。

『わっしょい下田』

下田地区民児協 冨田 彩子

「担い手不足」最近どこへ行ってもこの言葉を聞きます。下田地区地域ケア委員会でも、各所属団体の課題について話をすると、行き着く先は「担い手不足」となります。特に若い世代に活動を知って参加してもらいたいという願いに少しでも近づくために、下田ではアプリを使って行事のお手伝いを募る取組みを始めました。その名も『わっしょい下田』。

下田町在住の方々にアプリの登録をお願いすると小学校の保護者や大学生などいろいろな方が登録して下さり、令和7年1月の「ふくふくスタンプラリー」や自治会の盆踊りのお手伝いをして下さいました。

今はまだ小さな輪ですが、この輪を少しずつ広げるために皆で大切に育てて行きたいと思っています。最後に『わっしょい下田』にご興味を持たれた下田町の方、あなたの力を待っています。詳細は下田地域ケアプラザまで！

日吉宮前癒しのコンサート

日吉宮前地区民児協 山科 礼子

秋の午後のひと時、日吉宮前地区民児協主催でマリンバのプロ奏者（モネ）による秋のマリンバコンサートを開催しました。

今回はコンサートのプログラムの中に、やまと診療所日吉のスタッフの皆さんから認知症や嚥下機能（モノを飲み込む力）について耳より情報をミニ劇でわかりやすく、また楽曲に合わせて声を出したり口を動かすなどでは『パタカラ組曲』4つのトレーニングを参加者全員で体験。

パタカラのチラシの裏のパンダの折り紙は可愛いハートの宝物を持っていて（パンダノタカラモノ）と毎日十回唱えると嚥下機能トレーニングの魔法の言葉になるとのこと。

最後にマリンバの演奏で皆さんと合唱した「川の流れのように」には大感激！

今までとひと味違うマリンバの生演奏を聴きながらの健康講座は心も身体も健康になりました。

主任児童委員を振り返って

箕輪地区民児協 木村由美子

主任児童委員のお話を頂いた9年前の夏、私は丁度仕事の環境が変わったばかりでした。やってみたい、けれどこの状況で出来るのか、引受けていいのか等悩み、民児協に相談しました。**「出来ることを無理せず一緒にやっていこう、サポートはするよ。」**の言葉や上司からの後押しもあり、お受けする決意がつきました。

平日の活動で参加できない日は相方や民児協の仲間に託し、仕事との折り合いを付けながら活動してきました。子育てはほぼ終わりに近づいていましたが、今思えば後10年早くこの研修に参加したかったとか、今だからこそこの話を聞けてよかった！等、心に響くことが多々ありました。

他にも主任児童委員ならではの施設見学や赤ちゃん会のお手伝い、貴重な経験と楽しい時間を仲間と共有できたことは感謝しきれません。

ありがとうございました。

「なかよし」恒例「おとなの塗り絵」開催しました

日吉台町内会 保健活動推進員 岩澤 裕美子

「なかよし」は平成24年から始まった日吉町の地域の交流の場です。各ボランティア団体が毎月持ち回りで、モノづくり、講演会、健康測定会、パパ赤ちゃん会、塗り絵、子ども祭りなど様々な催しをしています。

11月は日吉台町内会が担当し、芸術の秋にぴったりな「おとなの塗り絵」を楽しみました。好みの塗り絵を選んでいただき、お茶とお菓子でおしゃべりしながらと考えていましたが、いざ塗り始めると皆さん手を動かすことに集中されて部屋は静まりかえり、あっという間に時間が過ぎました。最後に一人ずつ作品を披露し、お互いに感想を言い合ったり褒め合ったり、和やかな午後のひとときとなりました。

「なかよし」はその名の通り、ご近所に住む人々が気軽に集まり楽しい時間を共に過ごして顔見知りになり「なかよし」になれる場所です。

日吉の街でこの暖かい活動が末永く続きますよう願っています。

日吉地区社協助成金事業

★『無人ATM声かけ隊』を担当して

日吉本町西町会 大野 義徳

「無人ATM声かけ隊」ってご存知ですか？振り込め詐欺の被害防止のための見守りによる警戒活動を通して、地域防犯力の向上を図ることを目的として設けられた組織で、港北区および港北警察署から町会が依頼されました。

日吉本町西町会では、現在8名が自主的に隊員となり、毎週一回2人ペアで無人ATMの前に立ち、おかしな行動（2人で来店し相談しながらお金を振り込む、携帯をかけながら機械操作を行う等）がないか見守っています。

時々忘れ物があったり、操作がわからなくて聞かれる等がありますが、犯罪には至っていません。始めた当時はお巡りさんから交代したため不審者扱いもされましたが今では「ご苦労様」という声もかけられています。

★そだってネット

そだってネット代表 田原 浩美

「そだってネット」は、下田町を中心にひとり親家庭など子育て世代への食糧支援を行っています。下田町は市境にあり坂も多いため、区内の既存フードパントリーを利用するのは不便です。そこで、子ども連れでも安心して利用できる場所で、月1回のペースで食料品や日用品を提供しています。学校の長期休暇時にはお弁当の配付も行っています。また、毎月地域情報やお渡しした食料を使ったアレンジレシピを発信し、利用者が地域とつながるきっかけを作っています。

物資は主にフードバンクや区社会福祉協議会からご提供いただいていますが、地域の皆さまにもご協力いただければ、「フードロス削減」とともに、より良い街づくりにつながると考えています。現在、食材などの寄付を受けられる仕組みを検討しており、寄付箱を設置していただける場所を探しています。

ご協力いただける方は、日吉地区社協事務局までお問い合わせください。

■お問い合わせ

（日吉地区社協事務局：090-2733-0461）

編集後記

記事をお読みいただきありがとうございました。今期の記事は楽しんで頂けたでしょうか？本年もよろしくお願いいたします。

（編集委員）◎山科・足立・石井・板垣・佐々木・鈴木
田中・宮本・渡辺 Y・S ◎は編集長